



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 142 号

R5.12.22

文責 中西 勉



身近にある「チャンス」を生かすために

「チャンス」をうっかり逃してしまう人 10 の特徴

- ① 何事にも後退し、消極的な人。
- ② 誰かわかってくれるだろうと自分を出さない人。
- ③ 「ダメだったらどうしよう」と、やる前からダメになることを心配している人。
- ④ 「やったって、どうせ大したことはないだろう」と、意欲を持たない人。
- ⑤ 「誰かやればあ」と、逃げ腰で、しかも、行動しても無責任な人。
- ⑥ ちょっとやって思うように進まない、すぐ投げ出し、あきらめてしまう人。
- ⑦ 利己的で、他人のためにやるのが嫌いな人。
- ⑧ 自分が知っていること以外は受け付けず、人の話に耳を傾けない人。
- ⑨ 精一杯やるのがダメで、いつもやるのが中途半端で、いい加減な人。
- ⑩ 口ばかりで、やることはまるでなっていない人。



(『クラス担任が子どもに贈るハッピーメッセージ』山田暁生著／学事出版より)

先日、上に紹介した言葉に触れる機会がありました。もうすぐ令和 5 年の終わりを迎えるのに際し、1 年の締めくくりとして、自分の言動が①～⑩に当てはまっているか、率直に振り返ってみました。

⑦は、常に「ふお～ゆ～」を念頭に置いて行動することを心掛けてきたので、当てはまらないと思いましたが、また、③と④については、何事もとにかくやってみることを大切にしているので、これらも違うと判断しました。一方で、⑧に関して、子供や保護者、地域の方、職員の声に真摯に耳を傾けることができたか、また、⑩について、職員に対して指示を出すばかりで、自分が率先垂範することを疎かにしていなかったかという点では、反省の余地があると感じました。ここでの振り返りで「大丈夫かな？」と思ったことは、この逆のことを意識して行うことで、改善を目指していきたいと考えました。

自分が気付いていないだけで、「チャンス」は身近なところに意外と多くあるように思います。その「チャンス」を生かせるように、自分の言動を自分で客観的に見つめることを大切にしたいです。



PTA ワンチーム活動（奉仕活動） ご協力ありがとうございました

昨日、PTA ワンチーム活動（奉仕活動）を行いました。昨年までは、コロナ禍のためにこの活動を行うことができませんでしたが、今回は多くの保護者の方々のご来校くださり、子供の手が届きにくいところまでしっかりときれいにしていただきました。ご協力に心より感謝いたします。



▲子供たちと一緒に隅々まで丁寧に掃除をしてくださる保護者の方々